

〈特集〉 我が家のお正月とお雑煮

〈Topics〉 2026年 目標設定 レポート!

〈Interview〉 [保育部門] 鹿毛 真美さん [たかとり福祉会] 佐藤 亜弥美さん

〈Column〉 Mitsue's Column ~みつえのへや~

我が家のお正月とお雑煮

年明けからひと月が過ぎ、お正月気分もすっかり抜けた頃ではありますが、2月は「立春」や「旧正月」など暦の上では新年です。そこで、皆さんの家のお雑煮などお正月事情を覗かせていただきました。

味噌汁に丸餅が入っているタイプのお雑煮です。本当なら地元はすまし汁に丸餅のはずなのですが、香川から移住した祖母のふるさとの味が母に受け継がれています。

[ミニヨンさん]

エリア

宮崎県



お餅は手作りのものが入っているお雑煮です。

[yさん]

エリア

福岡県

鰯を1匹買ってきていところが捌きます。鰯の切り身とかしわが入り、椎茸といりこの効いた出汁で、餅・かつお菜を入れて食べてます。

[本部・たじまさん]

エリア

福岡県

《うちならではのお正月》

私の実家の方は、年末に祖母宅で親族が集まって餅つき➡外で牡蠣小屋をして過ごします。年末は、ずーっと吞んで吞んで 23:45 に年越しそばを食べ、年が開けたら新年の挨拶をし、「寝る組」「まだ飲む組」に分かれます。朝にまた乾杯してお雑煮を食べ、親族が新たに入れ替わり立ち替わり祖母宅に訪れ、話に花が咲きます。初日の出や初詣とかは各自行きたい人が行く感じです。

写真の栗配(くりはい) 箸は栗の木で作られた祝箸です。福岡に伝わる風習で、「行事の繰り返しがうまくいくように」という意味が込められています。最近は売っているお店も減ってきているようです。

基本的な博多雑煮!特徴は何ととっても『かつお菜』。少し苦味があるけど博多雑煮には欠かせません!それに我が家は鰯・椎茸・かまぼこ。縁起のいい四角に切った昆布とスルメ。それに茹で餅です。焼きアゴで出汁をとった醤油味。何度も食べられるので、正月太り必須です😅

[本部・かばしろさん]

エリア

福岡県



ウチのお雑煮は、餅や鶏肉、野菜、干し椎茸など具だくさんの郷土雑煮です。江戸時代の島原の乱で兵糧として作られたのが起源で、栄養満点で家族や地域の祝いの席で今も親しまれています。

[四季のいる保育園舞鶴園・うらびっと🍷さん]

エリア

長崎県南島原市

《ウチならではの正月》

正月の朝、まずは家族全員でこたつに集合！お屠蘇を飲んだら、色とりどりのお節料理に舌鼓。食べすぎ注意と思いきや、次は恒例の書き初め大会！今年目標をそれぞれ筆でしたため、家族の前で発表します。今年家族の目標は「無病息災！」、「すべてうまくいく（今年は午年だから）」などなど…笑いあり、拍手あり、時には突っ込みあり（笑）。こうして、食べて笑って、書いて発表して、元気いっぱい的一年がスタートします。

両親と祖父母の実家である福岡と今生活している関西を合わせたお雑煮です。

[吉村 綾乃さん]

エリア

福岡市、福岡県直方（筑豊）
兵庫県加古郡播磨町



毎年、夫の実家でお義母さんの「お雑煮」をいただいています。白味噌・おすまし、2種あります！ちなみに、私はいつも「おすまし」に焼き餅入りです。

[本部・ラメっちさん]

エリア

福岡県

《ウチならではの正月》

12月31日～1月1日の午前中までは夫の実家。午後に私の実家に行って帰宅…という流れです。年末用に、私の父（故郷が呼子）がいつも大きな「かんぱち」を用意してくれるので、まずはお刺身、そしてしゃぶしゃぶ、最後に雑炊です。夫の妹夫婦が、（京都）地元で有名なお肉屋さんでお高めの牛肉各部位を用意してくれるので、それも一緒に食べてます！あれもこれも皆で食べて、なかなか贅沢な食卓で年末を終えています。

沖縄県ではお正月に「おせち」や「お雑煮」を食べる習慣があまりないらしく、私がこれまで食べたことのあるお雑煮を元にオリジナルで作ってみました。

スルメと干し貝柱で出汁を取り、エビやホタテ、鶏肉などを入れた海鮮風お雑煮です。完成してみると寄せ鍋みたいになりましたが、美味しくいただきました！

[あしたばプラス・田中健一郎さん]

《ウチならではの正月》

和洋折衷なんでも好きなものを食べて、ちょっとお高いお酒を飲むのがお正月の醍醐味👍



お出汁が
とても贅沢！



エリア

沖縄県南城市

◎一年の始まりは立春から◎
開運
アクション
 まだ間に合う!

「ひたすら飲んで騒いでいた」「体調を崩して寝正月だった」。そんな正月らしいことは出来なかったという方々に朗報です♪ 暦の上では2月が新年のスタート。さあ、運気を上げていきましょう!

2月17日 旧正月

旧正月前後の週末に「初詣」へ行くこと。1月の混雑を避けた「ゆとり参拝」は、神様とじっくり向き合えるとされています。また、風水では、旧正月の期間に「赤いもの」を身につけると、一年の厄を払い、幸運を呼び込むと言われています。靴下やハンカチなど、見えないところに赤を取り入れるのもおすすめ。



こんな開運アイテムも

2月の旬
 「立春朝搾り」で
 運気を取り込む!

2月4日早朝に搾りあがったばかりの日本酒「立春朝搾り」は、その日のうちにお祓いを受けて出荷される縁起物。その日のうちに、「お祝い酒」としていただきましょう。このお酒は、まさに「生まれたての春」を飲むようなもの。邪気を払い、福を呼び込む「飲むお守り」として、日本酒好きの間では毎年争奪戦になるほどです。

2月4日 立春

この日に「新しいもの」を使い始めるのが吉。特に、春に買う財布＝「張る財布（お金でパンパンに張る）」として、財布の新調や使い始めに最適です。



つちのとみのひ
 2月24日 己巳の日

60日に一度しか巡ってこない金運の最強日。弁財天様を祀る神社（銭洗弁天など）への参拝や、通帳の記帳、小銭を洗うとご利益があるかも。



2026年/
目標設定 レポート!

1月18日(日)、今年もランチェス恒例の「目標設定」が開催されました。今回は会場 20名、リモート 57名の計 77名が参加しました。



まずは社長の挨拶からスタートしました。皆さん、今年はどうな目標を立てるのでしょうか。

可愛い参加者の目標も社長が非公開の条件でチェック!

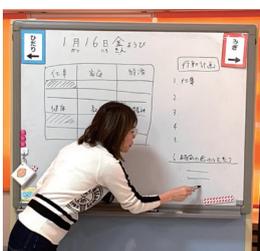


皆さん肅々と目標を立てていきます。雑誌の切り抜きで作る目標のビジュアル化も、保育士の先生たちにとってはお手のもの!

リモートで参加した皆さんにも不明点等、質問を受付ました。



社長はAIを使って目標のビジュアル化を試みていました!



初めて参加した人たちも安心!社長が例を出しながら分かりやすく説明してくださいました。

今からでも、ぜひ目標を立ててみましょう!

目標設定の目的や進め方など分かりやすく解説!



【前編】



【後編】

スタッフインタビュー [vol.18]

ほい！スタッフ vol.18

今回は昨年4月に園長に就任されたリトルワールドあゆみ保育園の園長・鹿毛先生にお話をうかがいました。

リトルワールド
あゆみ保育園
園長 ^{かげ} 鹿毛 真美 先生



信頼関係を築いて、意見を言い合える環境づくりを。

中：園長に就任されて、以前との大きな変化はありましたか？

鹿：副園長時代と大きな違いは、園の最終責任を担っていることでしょうか。今まで園長先生の大変さを側で見てきたつもりでしたが、実際にその立場になってみると改めて見えない部分でのご苦勞を知ることができました。前の園長がされてきたように、先生たちとの信頼関係を築いて何でも意見が言い合えるような環境をつくれたらと思っています。

中：昨年は「福岡市福祉のまちづくり推進大会」で表彰を授与されていましたね。

鹿：自分自身では表彰に値するような実績は思い当たりませんが、励ましと応援のお気持ちを込めてご推薦いただいたものと存じ、感謝の気持ちをもってありがたく頂戴いたしました。

園長になっても、子どもたちとふれあう時間を大切にしている鹿毛先生



地域に愛される保育園でありたい。

中：先生が理想とする「あゆみ保育園」を教えてください。

鹿：地域に開かれた愛される保育園でありたいと思っています。

そのためにも、子どもたちには園内だけでなく園外での地域清掃や老人ホームへの訪問活動も積極的に行っています。普段から地域とつながっていることで、子どもたちが困っているときには助けてもらえる環境を築くことが出来ると考えています。

中：開かれた園という意味では、学生ボランティアや保育士研修生の受入れも積極的にされていますね。

鹿：はい！もちろん受入れ準備など大変なこともあります。当園の良さを知ってもらって求人応募のきっかけになればと考えています。

実写版「ゴールデンカムイ」の世界観に夢中！

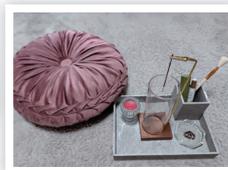
中：プライベートでは観劇や映画などを楽しまれているとか。

鹿：表現活動に触れることはオフの日にも積極的に行っています。常々仕事とプライベートは相互にリンクしていると考えていて、舞台の表現や音楽に触れたことは保育の現場にも役立てています。

映画では「ゴールデンカムイ」の実写版にはまっていて、物語から感じ取れる「生きる力」や「自然との共生」「それぞれの人物が抱える背景の描き方」などに夢中になりました。いつか物語の視点で北海道を旅してみたいです！



◀ 昨年にはミュージカル『Les Misérables』ワールドツアーを観劇したそう



リラックスタイムに焚いているというお香グズも本格的！

積極的にお休みを取ってインプット・アウトプットを実践している鹿毛先生、あゆみ保育園の先生たちが生き生きと楽しそうなのも、園長先生自ら素敵なお手本になっているからかもしれませんね！

スタッフインタビュー [vol.18]

たかとり福祉会スタッフ

お話を伺ったのは、昨年8月から「社会福祉法人たかとり福祉会」で生活支援員として働く佐藤さんです。

たかとり福祉会
生活支援員
佐藤 亜弥美さん



陶芸がきっかけでたどり着いた道。

中：生活支援員になるきっかけは何ですか？

佐：元々は陶芸の世界に関心を持ち、佐賀の窯業学校で学んだ後、長崎の東彼杵町にある施設で利用者の方々に向けて陶芸の指導をしていました。その中で、陶芸という一面だけの関わりではなく、もっと生活全体の支援が出来ればと探していたところ、こちらの事業所にご縁をいただきました。

利用者さんの「やった✨」の顔に、やり甲斐を感じます！

中：実際に働かれて印象はいかがですか？

佐：実はたかとり福祉会を知ったのはカフェ利用がきっかけで、お店の明るく緩やかな印象もさることながら、ここで働く利用者さんやスタッフの皆さんの直向きに仕事に取り組む姿が印象的で、こちらも気合が入りました！サポートしながら、昨日上手く出来なかったことが今日は出来た！という喜ぶ姿を見るとやり甲斐を感じます。

中：大変なお仕事だと思えますが、この仕事をする上で一番大切にされていることは何ですか？

佐：利用者さんの特性によって、お一人おひとり関わり方が変わります。今は先輩方からしっかり学びながら、信頼してもらえるような支援員を目指します。



▲利用者さんの様子を見ながら、根気強く丁寧に教える佐藤さん

やっぱり焼物が好き、ものづくりが好き。

中：お休みの日は、どのように過ごされているんですか？

佐：友人とのんびりカフェ巡りをしたり、ものづくりの体験などに参加したりしています。行くのは福岡エリアのカフェがメインですが、やはり使われているお皿やカップなどの焼物にも目がしちゃいますね（笑）

中：福岡に出て来られて、陶芸もされる機会はあるんですか？

佐：以前は大名にあった陶芸教室で6年程教えていた時期もあったんですが、残念ながら今年閉店してしまうので最近では作る機会が減ってしまいました。もしチャンスがあれば、積極的に参加したいですね。



▲佐藤さん作の湯呑み。あたたかみがあって味わい深い作品からも、佐藤さんの人柄が伝わってくる

陶芸は然り、ものづくりが大好きな佐藤さん。今は利用者さんたちと共に美味しいお菓子づくりに夢中だといいます。佐藤さん自慢の美味しいお菓子は、コトリ珈琲店のオンラインショップでも購入できるので、ぜひお試しください♪

コトリ珈琲店
オンラインショップ



10月

- リトルワールドあゆみ保育園 [保育士] 松本 裕美子さん
- ありすの家 博多 [看護師] 池田 ともみさん
- ありすの家 小倉北 [保育士] 横山 道子さん
- リトルワールド室見保育園 [保育士] 立川 まどかさん
- リトルワールドちくし保育園 [保育士] 西原 千尋さん
- リトルワールドおおくぼ園 [保育士] 寛角 親さん
- 放課後等デイサービスひまわり姪浜校 [理学療法士] 上村 礼央さん

11月

- ありす訪問看護ステーション城南 [看護師] 池尻 智美さん
- 産後ケアありすの家 [保育士] 浦上 尚子さん
- リトルワールド明石駅前保育園 [調理師] 藤井 さくらさん

12月

- リトルワールドあゆみ保育園 [保育士] 富永 望月さん
- リトルワールドちくし保育園 [保育士] 広尾 春菜さん

Mitsue's Column ~みつえのへや~

今年も新年のスタートは1月3日のゴルフから。私の目標の一つが「ベストスコア更新」。

楽しみながら目標達成できるように頑張ります。

ゴルフの面白いところは、たった一打のミスがスコアを大きく左右することもある。逆に粘り強くリカバリーを続けることで、最終的には良い結果に繋がることもある点。これは、私たちの仕事にも通じるものがあると感じています。

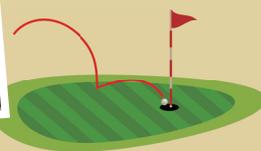
日々の現場では、計画通りにいかないことや、予期せぬ課題に直面することもあります。そこで次の一手をどう打つか。チームでどう支え合うか。その積み重ねこそが、子どもたちや利用者様の笑顔や、私たちの「ベストスコア（成果）」に繋がっていくのだと確信しています。

ゴルフも仕事も、一人ではできません。良き仲間恵まれていることに感謝をし、この一年を全力で楽しんでいきたいと思えます。

2026年も、ナイスショットな一年にしていきたいと思います！



前日には福岡でも雪が降ったという天気の中、皆さん、寒さを吹き飛ばすようなベストスマイル！



● 編集後記 ●

今回は皆さんのお正月の風景をちょっとだけ覗かせていただきました。過ごし方はそれぞれ違えど、共通していたのは「家族の団欒」です。あたたかい気持ちになりながら、新年最初の編集を進めることが出来ました。そして2月は暦上の新年スタート月。ぜひ、運気を呼び込みましょう！（中川内）

◎取材・記事・編集

営業本部広報企画課：中川内 さおり、小田代 利恵
取材協力：鹿毛 真美先生、佐藤 亜弥美さん

【次回の予定】 Branches ism 春号は2026年5月1日発行予定です

◎ご意見・お問い合わせは

株式会社 Branches
株式会社ブランチェス

営業本部広報企画課まで

ぜひ感想をお寄せください！



社報誌感想フォーム



まずは
お友だち
登録♪

LINE

公式 LINE アカウント
ご意見箱からどうぞ。